

ベトナム・ダナン視察会実施報告書

東京NBC 国際ビジネス委員会 海外視察 2016

主催 一般社団法人 東京ニュービジネス協議会 国際ビジネス委員会
共催 公益社団法人 日本ニュービジネス協議会連合会

2016/5/21～5/24

目次

- I 参加者名簿
- II 期間
- III 渡航費用
- IV スケジュール
- V 目的
- VI 視察内容
- VII 成果報告
 - 1 視察レポート
 - 2 ベトナム概要

以下のとおりベトナム・ダナン視察の報告を致します。

I 参加者名簿

13名＋事務局1名 計14名（以下、敬称略）

	御名前	NBC御役職	会社名
1	深沢 栄治	東京NBC／副会長	株式会社光彩工藝
2	平沼 大二郎	埼玉NBC／会長	株式会社サイホー
3	辰野 元信	東京NBC／理事／国際ビジネス委員会委員長	サリカ株式会社
4	平井 由紀子	東京NBC／理事／国際人財教育委員会副委員長	株式会社セルフウィング
5	山本 修義	東京NBC／国際ビジネス委員会副委員長	株式会社M's club
6	和田 正	東京NBC／国際ビジネス委員会副委員長	みなと協和法律事務所
7	青木 宏真	東京NBC	QVS株式会社
8	細矢 潔	東京NBC	株式会社ミュージズサポート
9	槇島 正夫	神奈川NBC	株式会社マキシマム・テクノロジー
10	谷口 正俊		株式会社ワールディング
11	TRAN SONG BINH DUONG チャン ソン ビン ユン		Selfwing Vietnam Co.,Ltd 日越友好協会副会長
12	松林 正治		ダナン大学（日本語講師）
13	秋本 輝彦		株式会社パン・アキモト
14	伊藤 剣之介	東京NBC／事務局	（一社）東京ニュービジネス協議会

II 期間 2016年5月21日(土) ～ 5月24日(火)

III 渡航費 75,050円/人

(※2名一室利用の基本料金。シングル利用は別途料金。航空券は含まず。)

開催概要	
開催日時	2016年5月21日(土)～24日(火)
視察地	ベトナム【ダナン/ホイアン】 (※現地 ダナン国際空港 集合・解散)
定員	最少催行人数 8名
参加費	75,050円/人
	【含まれるもの】
	-ホテル代(3泊分、朝食)
	-送迎基本パック
	-2日目ホイアン入場料
	-2日目・3日目車両代(2日目:11時間・3日目:10時間)
	【含まれないもの】
	-航空券
	-シングル料金
-昼・夕食代	
宿泊先	1泊目:Melia Danang / 2泊目:Mercure Hoi An Royal / 3泊目:Pullman Danang Beach Resort
注意点	航空券は参加費に含まれません。各自でご手配いただきます。 航空券の手配を事務局でご希望される方はご相談ください。

IV スケジュール

プログラム		備考	
5月21日(土)	▼20時00分	ダナン国際空港 集合	直行便 15時25分成田発 - 19時15分ダナン着
	▼20時10分	決起会・夕食	会場: DONG DUONG RESTAURANT 1
	▼21時45分	ホテルへ移動、宿泊 (ダナン泊)	ホテル: Melia Danang
5月22日(日)	▼8時45分	ホテルロビー 集合	
	▼9時00分	ホテル 出発 ダナン市内視察	
	▼10時00分	Gochi Pan Bakery 訪問	東京NBC会員企業
	▼11時00分	ダナンの街並みを見学	
	▼12時00分	昼食	会場: 4u - For You Restaurant
	▼13時00分	ホイアンへ移動 → ホイアン観光	
	▼18時00分	夕食	会場: The Market Restaurant & Cooking School
	▼19時30分	ホテルへ移動、宿泊 (ホイアン泊)	ホテル: Mercure Hoi An Royal (旧 Hoi An Pacific Hotel)
5月23日(月)	▼8時00分	ホテルロビー 集合	
	▼8時15分	ホテル 出発	
	▼9時00分	Selfwing Vietnam Co.,Ltd / ダナン大学 視察	アポイント: チャン バンナム氏 学長
	▼10時30分	ダナン市総合庁舎(市役所・計画投資局) 視察	アポイント: ヴォコンティ氏 ダナン市共産党執行委員会常任副書記長
	▼12時30分	昼食	会場: MADAM LAN RESTAURANT
	▼14時00分	ダナンハイテクパーク 視察	
	▼15時30分	ホテルに戻り自由時間	
	(▼16時00分)	※希望者のみ【「経営者の運勢アップ」占い】	
	▼18時30分	ホテルロビー 集合	
	▼19時00分	夕食	会場: Hi Villa Restaurant
	▼20時30分	ホテルへ移動、宿泊 (ダナン泊)	ホテル: Pullman Danang Beach Resort
5月24日(火)	▼7時45分	ホテルロビー 集合	
	▼8時00分	ホテル 出発	直行便 10時50分ダナン発 - 18時00分成田着
	▼8時30分	ダナン国際空港 解散	

V 目的

ベトナム中部最大の都市、ダナン(ダナン市 / Da Nang City)は、ベトナム北部ハノイ・南部のホーチミンに続く、第三の都市として今後のさらなる発展が期待されている。経済成長著しいダナンの特色や日本企業進出のメリット、人材の観点からビジネス環境の視察、また、現地法人企業を訪問することで当地の生の情報を捉え、今後、NBC会員企業が海外進出する際の情報提供及び人脈作りを目的とする。

VI 視察内容

1日目 ベトナム・ダナンツアー決起会

2日目 現地法人企業訪問
ダナン市・ホイアン市 散策

3日目 現地法人企業訪問
現地法人企業・ダナン大学・総合庁舎・ハイテクパーク 視察

VII 成果報告

一般社団法人東京ニュービジネス協議会と公益社団法人日本ニュービジネス協議会連合会は、ベトナム・ダナン視察ツアーを通して数々の実りを得た。

- ・多くの方々と交流、情報・意見交換ができこと
- ・日本文化の受け入れや、日本語教育が進んでいる現状を把握できたこと
- ・ベトナム・ダナンの経済状況は勿論、意見交換を行った視察先では、日本企業進出について歓迎と期待の言葉を頂戴し、また、現地法人企業から、現状や体験談など机上の理論ではない生の声を聞くことができたこと

尚、次からの「視察レポート」で、詳細について記す。

1 視察レポート

5月21日（土）

「DONG DUONG RESTAURANT 1」にてツアー決起会を実施



5月22日（日）

東京 NBC 会員企業【㈱パン・アキモト】が展開する「Gochi Pan Bakery」訪問



「熟成されたおいしいパンと、おもてなしの心を持つ日本風のパン屋を地元根付かせた

い」と、秋元社長の強い思いで 2015 年にベトナム・ダナンへ進出。

商品は菓子パンや食パン、観光客のお土産に大人気のクッキーなど、日本と同様のラインナップを揃えており、約 80 平方メートルの店内では、購入した商品を食べられるイー トインスペースを用意している。従業員はベトナム人を採用し、リーダー候補には日本での研修に参加してもらい、日本独自のきめ細やかな製造技術や接客手法を教え込む。また、パン・アキモトは、焼きたてパンを長期保存する「パンの缶詰」の製造・販売、それを下取りして被災者や飢餓状態の人々に配布する「救缶鳥プロジェクト」で多くの人に知られている。

日本から技術指導にいられていた（株）パン・アキモト 取締役製造部部長 秋元輝彦氏からは、現地の情報や今後のビジネス展開予定などを伺うことができた。

5月23日（月）

東京 NBC 会員企業【㈱Selfwing】が展開する「Selfwing Vietnam Co.Ltd」訪問



代表者 平井由紀子氏 東京 NBC 理事（国際人財教育委員会副委員長）、
ダナン市投資促進センター アドバイザー

共同代表 チャン・ソン・ビン・ユン氏 日越友好協会副会長

両氏共に、ベトナム政府が推進する APEC ビジネス諮問委員会顧問（仮）に就任予定。

Selfwing Vietnam Co., Ltd はダナン大学との協力関係にあり、同大学内でインキュベーション事業を展開するほか、下記事業の立ち上げを行っている。また、現在ホーチミン法人設立準備中との事。

- *保育・幼稚園から大学、社会人までの「日本式教育」を実施する教育事業
（今年度からベトナムの公立小学校の第一外国語は日本語）
- *高度人材の紹介事業（ベトナム国内、及び日本その他海外）
- *日本企業ベトナム誘致事業

ダナン大学は、約 6 万人の学生を有する総合大学。IT 技術者の教育とともに、日本語や日本文化に対する教育も重視している。また、日本への高度人材の送り出しにも熱心であることから、Selfwing Vietnam Co. Ltd の担う役割は大きい、と実感することが出来た。

ダナン大学 視察



ダナン大学で日本語教師を務める松林氏（元東京 NBC 会員）より、ダナン大学、東京 NBC の両者について紹介の後始まった懇談会では、ダナン大学 チャン バン ナム学長のご挨拶、東京 NBC 深沢副会長（団長）の挨拶、東京 NBC 参加者一人ひとりの自己紹介、日本企業の進出とベトナムでの人材について、の意見交換などが行われた。

チャン バン ナム学長からは「ダナン大学は日本企業や日本の大学との提携を進めたいと考え、広く門戸を開いています。」とのお言葉を頂いた。現在提携を結んでいる大学が日本全国各地に存在し実際にインターンシップを行っていること、日本へ興味のある学生を支援するため大学内に「日本センター」を設立したこと、ダナン大学の学生は「活発であり、忠実である」というお話があった。

埼玉 NBC 平沼会長からは、埼玉県についてのプレゼンテーションが行われ、今後、埼玉県とダナン大学、ダナン市、ベトナムとの友好関係を築いていきたいとの話があった。また、ベトナムでは日本アニメの人气が非常に高いこともあり、プレゼン資料と共に埼玉県が誇るアニメキャラクター「クレヨンしんちゃん」のグッズが配られると、参加者からは「知っている！」との声も上がり、プレゼンは終始和やかなムードで行われた。

ダナン大学（The University of Da Nang）は、ベトナムのダナン市にある国立の総合大学であり、ハイレベルな理工系の学生や日本語学科の学生がいることが、大きな魅力と感じることが出来た。

総合庁舎 視察





ダナン市共産党執行委員会常任副書記長 ヲコンティ氏からの歓迎の挨拶で始まった懇談では、埼玉 NBC 平沼会長の冒頭挨拶、東京 NBC 参加者一人ひとりの自己紹介、そして埼玉 NBC 平沼会長からは埼玉県についてのプレゼンテーションが行われ、また日本企業の進出と日本文化受け入れについての意見交換も、行われた。

ダナン市共産党執行委員会常任副書記長 ヲコンティ氏は、ダナンの魅力として、急成長する経済、発展したインフラ、豊富な人材をあげ、また、ダナン港はラオスやタイ東北部を經由しミャンマーまで結ぶ東西経済回廊の終点となり、重要貨物中継地になっていることについても、他地域との経済交流の関係を強化する意味で非常に大きなメリットだと強調された。

外務省幹部からは、2016年7月29日～31日の3日間に開催される「2016年ダナン日越文化交流フェスティバル」について紹介があった。日本のさまざまな文化を通して日越相互理解の促進を図ることを目的として開催され、今年は3万人の参加を見込んでいるとの事。内容に興味を持ち、フェスティバルへの参加を検討している参加者も見受けられた。

ダナンハイテクパーク 視察



国際空港から 17 km、都市中心部から 22 km に位置し、総計画面積は 1,129,76 ha と広大な土地に、急ピッチで建設が進むダナンハイテクパーク。

視察では、優遇処置（土地リース料・法人所得税・輸出入税・付加価値税・個人所得税の免税や、投資優遇分野）についての説明があった。

その中でも特に、土地リース料（100%免除）、法人税の優遇（優遇は15年間。1～4年間→100%免除、5～12年間→税率5%、13～15年間→税率10%）については、参加者からも驚きの声が上がリ、企業誘致への意識が非常に高いと感じることが出来た。

2 ベトナム概要

正式国名 ベトナム社会主義共和国（Socialist Republic of Viet Nam）

面積 32万9241km²（日本の約90%）

人口	約 9434 万人 (2015 年)
首都	ハノイ
元首	チャン・ダイ・クアン氏
首相	グエン・スアン・フック氏
政体	社会主義共和制
言語	ベトナム語
民族構成	キン族 (ベト族) 約 90%、そのほかに 50 以上の少数民族が存在している。
宗教	約 80%が仏教徒。その他、キリスト教 (9%)、イスラム教、カオダイ教、ホアハオ教、ヒンドゥー教など。

◆経済 (2015 年)

GDP 成長率	6.68%
年平均物価上昇率	0.63%
失業率	2.31% (都市部 : 3.29%、農村部 : 1.83%)
外国投資 (認可額)	227.6 億ドル
貿易収支	-35.4 億ドル
輸出	1,621.1 億ドル (対前年比 7.9%増)
輸入	1,656.5 億ドル (対前年比 12.0%増)

・経済状況

- (1) 1989 年頃よりドイモイの成果が上がり始め、1995 年～1996 年には 9%台の経済成長率を記録。アジア経済危機の影響から一時成長が鈍化したものの、海外直接投資の順調な増加も受けて、2000 年～2010 年の平均経済成長率は 7.26%と高成長を達成。2010 年に (低位) 中所得国となった。
- (2) 2011 年以降、マクロ経済安定化への取り組みに伴い、2011 年は 5.9%、2012 年は 5.2%と成長率が鈍化。その後、2013 年は 5.4%、2014 年は 5.98%と回復し、2015 年は 6.68%を達成。一方でインフレは抑制されており、安定的に成長。
- (3) ベトナムは一層の市場経済化と国際経済への統合を推し進めており、2007 年 1 月、WTO に正式加盟を果たした。その後も、各国・地域との FTA/EPA 締結を進めており、TPP 交渉にも参加。他方、未成熟な投資環境、国営企業の非効率性、国内地場産業の未発達等懸念材料も残っている。

・経済協力

1992 年 11 月に経済協力再開。日本はベトナムにとって最大の援助国。特に 2011 年度以降は、年間の援助供与額が 2000 億円を超える規模となっており、我が国 ODA はベトナムの経済社会インフラ開発等に大きく貢献している。

我が国の対越ODA供与規模・実績

(単位:億円)

年度	2010	2011	2012	2013	2014
円借款	865.68	2,700.38	2,029.26	2,019.85	1,124.14
無償資金協力	35.54	55.2	17.2	14.65	14.81
技術協力	71.52	104.86	85.15	82.71	76.67

(注) 円借款及び無償資金協力は原則交換公文ベース、技術協力は JICA 経費実績ベース
2009 年度の円借款には、緊急財政支援 479 億円を含む

・投資

2015 年の日本の対ベトナム直接投資額（新規及び追加：認可ベース）は 18.4 億ドルで国別では第 3 位となった。また、累積投資認可額では韓国に次いで第 2 位。

国別外国直接投資

(単位:億ドル)

累積認可額(新規及び追加、2015年12月時点)		2014年認可額(新規及び追加)	
1 韓国	449	1 韓国	67.3
2 日本	384.1	2 マレーシア	24.8
3 シンガポール	347.2	3 日本	18.4
4 台湾	306.9	4 台湾	14
5 英領バージン諸島	192.2	5 サモア	13.9
合計	2,790.40	合計	227.6

※出所：越外国投資庁

・在留邦人数、日系企業数

在留邦人数：13,547 人（2014 年 10 月現在）

日系企業数：1,537 社（2016 年 2 月現在）

・在日ベトナム人数

146,956 人（2015 年 12 月法務省在留外国人統計）

以上



一般社団法人東京ニュービジネス協議会

<http://www.nbc-world.net/>

107-0052 東京都港区赤坂 1-11-28 ユニゾ赤坂一丁目ビル 7F

TEL : 03-3584-6080 FAX : 03-3584-6081

公益社団法人日本ニュービジネス協議会連合会

<http://www.nbc-japan.net/>

107-0052 東京都港区赤坂 1-11-28 ユニゾ赤坂一丁目ビル 7F

TEL : 03-3584-6077 FAX : 03-3584-6081